

「メルボルン追想」雑感

三年半の豪州生活は無我夢中でやってきた結果だと思えます。家族も結果オーライで有難く思えます。寧ろ、帰国後の習慣差の影響で精神的、肉体的な苦痛を感じました。社内の雰囲気、満員電車などに慣れる時間が必要でした。何はともあれ、あの時代を今振り返って見て、印象に残った部分しか記述できませんでしたが、何とか時系列的にまとめてみました。画像、動画は、人物主体が大半で、風景のみの物が少なく、少ししか開示できなかったのが残念に思えます。再度チャンスがあることを祈念して筆をおきます